

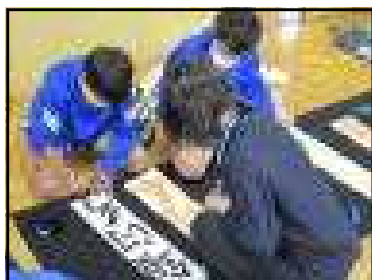
2020-1009 (金) 心を落ち着かせて 書道に取り組む生徒たち

地域ボランティアの方々のご指導をいただき、10月5日(月)から集中的に書道の授業が始まっています。画仙紙を使って生徒たちは、思い思いの字を書いています。例年なら小さな見本の作品を手元に置いて書いているところですが、今年は少し違います。ボランティアの方が画仙紙に朱書きした見本となる作品がいくつもあり、それを生徒が選んで手本にしながら、自分の作品を力強く、また丁寧に書



(太くて力強い! いいね!)

ています。最初の時間より、2時間目や3時間目と時間が経つごとに作品自体が変化していく様子が見てとれます。生徒たちは、心を落ち着かせて自分と向き合いながら作品づくりに励んでいます。ボランティアの方が、作品として書く字には、「へん」と「つくり」があり、これは人間関係につながっていると話されていました。近づきすぎるとお互いがあたったりトラブルになったりします。また、離れすぎていると人間関係が希薄になります。そのバランスを考えることや、「書」を通してそのことをわかったり身につけたりしてほしいとおっしゃっていました。奥深い「書」に心を落ち着かせて取り組むとともに、納得できる作品が仕上がりますように!



(バランスがいいね!)



(この線が力強いね!!)



(自分と向き合いながら…)